



2月 園だより

ゆめ

“ばく” っていう な のどうぶつが
ゆめを たべるといふけれど
うれしい たのしいぼくのゆめ
だいじに とっておきないな

かみさま ぼくはゆめがすき

暖かい日があったり、ぐっと冷え込む日があったり、大人も子どもも体調管理が難しい気候です。幼稚園では、インフルエンザ・ヒトメタニューモウィルス・胃腸炎・風邪が流行しております。引き続き、手洗い・うがいを続けていきたいと思えます。

さて、昨今問題になっている「小1プロブレム」をご存じでしょうか。

「小1プロブレム」とは、小学校入学直後、環境に適應できず、落ち着かない状態が数カ月以上続くことをいいます。授業中にもかかわらず、教室内をウロウロと歩き回ったり、勝手に外に出てしまう等、学校生活に適應できずにいるのです。

実は、この問題は就学前段階に要因があるのではないかと、たくさんの研究がなされています。これらの研究から、基本的な生活習慣の獲得がなされていない子は、就学後に不適應状態を示す率が高いことが分かっています。

基本的な生活習慣とは、食事・排泄・睡眠・着脱衣・清潔といった5項目で見えています。この5つが生きるための最低限の事で、自分でできる力として基本的な生活習慣と呼ばれるものです。乳幼児期の基本的な生活習慣は、引きこもりの種を撒かないためにも大切な要素でもあるといえます。

また、基本的な生活習慣を3歳までに獲得した子どもの論理的思考の高さも分かってきました。

「基本的な生活習慣」の自立は、乳幼児期における最重要課題と言われていています。しかも、基本的な生活習慣においては、中高生では不登校問題、大人ではうつといった精神障害の問題にも直結します。

子どもたちが小学校以上の社会で生きにくくならないためにも、そして心と体を健やかに育み、人生を幸せに生きていくためにもこの乳幼児期（0～6歳）に幼稚園と保護者の皆様と一緒に生活習慣を応援してあげましょう。

□ 2月のねらい

年長	<ul style="list-style-type: none">生活発表会の練習を通して、友だちと一緒に作り上げる楽しさを味わい、やり遂げたことに喜びを感じる。就学への期待を持って生活し、自分で生活の見通しを持ちながら活動を行う。
年中	<ul style="list-style-type: none">生活発表会の練習を通して、表現することを楽しむ。友達や異年齢児と積極的に関わり、思いやりの気持ちを持つ。
年少	<ul style="list-style-type: none">生活発表会の練習を通し、役になりきって遊ぶことを楽しむ。生活の見通しを持って、進んで身の回りの事をしようとする。
2歳	<ul style="list-style-type: none">集団で遊ぶことに興味を持ち始める。その中でトラブルを解決できるよう自分の気持ちを伝えようとする。友達同士での関りを深め、ルールのある遊びを楽しむ。
1歳	<ul style="list-style-type: none">あひる組進級に向けて自分で出来ることが増える。うがいをする習慣をつける